

第三者評価結果入力シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構

②評価調査者研修修了番号

SK18178

17-A009

③施設名等

名称：	太陽寮
施設長氏名：	戸泉茂樹
定員：	39名
所在地(都道府県)：	長崎県
所在地(市町村以下)：	島原市南崩山町丁2800番地2
T E L：	0957-62-2054
U R L：	https://www.minorikai.or.jp/
【施設の概要】	
開設年月日	1918/9/7
経営法人・設置主体（法人名等）：	社会福祉法人 みのり会
職員数 常勤職員：	25名
職員数 非常勤職員：	7名
有資格職員の名称（ア）	保育士
上記有資格職員の人数：	5名
有資格職員の名称（イ）	栄養士
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（ウ）	調理師
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（エ）	認定心理士
上記有資格職員の人数：	4名
有資格職員の名称（オ）	児童指導員
上記有資格職員の人数：	1名
有資格職員の名称（カ）	
上記有資格職員の人数：	名
施設設備の概要（ア）居室数：	39室
施設設備の概要（イ）設備等：	講堂1室、医務室2室、遊戯室1室、静養室2室、図書室1室、浴室13室
施設設備の概要（ウ）：	調理室1室、会議室2室、トイレ29室、宿直室1室、相談室1室
施設設備の概要（エ）：	事務室4室、心理療法室1室、洗濯室13室、倉庫1、運動場1

④理念・基本方針

理念

- 1) 「みのり会」は、一人一人の生命と個人の尊厳を大切にします。
- 2) 「みのり会」は、全ての利用者のために誠実に奉仕し何よりも安全安心を第一とした事業の運営に努めます。
- 3) 「みのり会」は、百有余年の歴史と伝統を活かし常に時代に適応した社会福祉の向上に邁進します。
- 4) 「みのり会」は、地域の人々との絆を育み社会貢献活動の推進に努めます。
- 5) 「みのり会」は、職員は、常に礼節を保ち自己研鑽に励むとともに協力して明るい職場づくりに努めます。

基本方針

- 1) 運営方針・・・児童福祉法の定める児童福祉の理念のもと、児童養護施設太陽寮の円滑な運営を推進する為、長崎こども・女性・障害者支援センター、学校など関係機関ならびに保護者との連携を図るとともに地域との交流にも努め児童の権利擁護を最重点課題に職員一体となって明るく開かれた施設作りを目指す。
- 2) 子育て方針・・・一人一人を大切に明るく温かい家庭的な環境の中で生活しながら、豊かな心を育て、自立に必要な知識、技能や態度を身に付け、未来をより良く生きようとする子どもを育てる。
- 3) 子育て目標・・・①目指す子ども像「自分のことを好きになる」「ありがとうを言えるありがとうと言われるこども」②「愛情いっぱい元気よし笑顔よし」「愛すること」「責任」「人の役に立つ喜びを伝える」③地域社会との関わり「ともに暮らす地域の仲間として絆ある関係づくり、必要とされる施設」

⑤施設の特徴的な取組

- 1) 建物を小規模化し6つのグループで生活を営むことによって明るく温かい家庭的な雰囲気づくり生活を通して人と人との繋がりを感じ、互いを大切にする心を育てている。
- 2) 地域との交流を通して、ともに暮らす地域の仲間としての関係づくり、開かれた施設づくりに力を入れている。
- 3) 島原の自然環境と触れ合い、多様な経験を重ねる中で生活する知識や技能を身に付けながら潜在する能力を伸ばせるよう取り組んでいる。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/10/15
評価実施期間（イ）評価結果確定日	2021/3/31
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度

⑦総評

◇特に評価の高い点

・地域との関係が適切に確保されている。

運営方針に地域との交流を謳い、事業計画においても「地域支援」を位置づけ、子育て相談ができる窓口の設置、子育て短期支援事業、退所児童への支援や地域の子供達との居場所づくり、学習支援等の機会を設けている。施設移転前の町内会との関係も継続しており、地域に根ざした施設づくりへ積極的に取り組んでいる。子供達はレオクラブの活動を通じた地域清掃活動や、独居老人のゴミ出しを手伝うなどの奉仕活動によって施設の理解や地域とのコミュニケーションに繋がっており、高く評価できる。また、地域の方が気軽に立ち寄れるよう地域交流スペースを設けたり、施設ホールを開放し講演の聴講や、子育て相談窓口の設置、学習支援など、地域住民との交流を通じて地域の課題の把握や解決に向け取り組んでいる点が高く評価できる。

・子どもの権利擁護に関する取り組みが徹底されている。

豊かな心を育む委員会（通称豊ここ）を通して毎月テーマを設定し、権利擁護に関する研修会を開催している。被措置児童虐待発生時対応マニュアルや太陽寮児童虐待対応マニュアル（地域版）を作成し、職員への理解を図るとともに、入職にあたり、職員全員に「職員ノート」をファイリングして配布し、新任時に説明している。「職員ノート」には権利擁護について、子どもの人権、プライバシー保護、規範等のほか虐待マニュアルをとり込み整備しており、子どもの権利擁護に関し徹底して取り組んでいる。自他の権利について子どもの年齢や発育状態に応じ、一人ひとりの日常生活の中で機会を設け話をしている。時には権利ノートを用いて子どもが生活の中で保障される様々な権利を分かりやすく説明している。訪問調査時には隣接する特別支援学校の生徒と子どもとの交流を通じて、自分より弱者の立場の人を思いやる子どもの姿をエピソードとして窺うことができた。

◇改善を求められる点

・事業計画は子どもや保護者等に周知され、理解を促している。

子どもには行事予定などを伝えているが、子どもや保護者等へ事業計画を周知するまでには至っていない。保護者に対し、面会や行事等の機会を通じて保護者が訪問した際に資料を提示するなど説明していく意向である。施設のリーフレットには運営方針・養育方針・養育目標を明記しており、今後、リーフレットとともに事業計画の内容を子どもや保護者に分かりやすく説明できるよう工夫し、周知することが望まれる。

・職員一人ひとりの育成に向けた取り組みを行っている。

各ユニットのグループリーダーを中心にユニット毎に具体的な目標を設定するとともに、職員の自己評価及び相互評価（ワンオンワン）を実施し、振り返りや次年度に向けた目標設定等を行っている。今後、職員個々の目標管理について達成度の確認を行うとともにキャリアパスの仕組みとも連動しながら構築するなど、職員の育成に向けた体制への取り組みが望まれる。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

今回で三回目の受審となりましたが、前回同様、様々な面で気づきを与えてくださり、ありがとうございました。客観的に評価されることで、新たな課題が発見でき、それらを職員共に検討し、解決してまいります。その取り組みが、子供たちがよりよく安全に生活できることに繋がると信じ、職員一同励んでまいります。

第三者評価結果（児童養護施設）

共通評価基準（45項目） I 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		第三者 評価結果
①	1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。	○
	<input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	
【コメント】		
法人の基本理念及び基本方針はホームページやリーフレットに掲載するとともに、当施設の目的及び方針も掲載しており、目的及び方針からは施設の目指す方向や考え方を読み取ることができる。職員の入職時には理念・基本方針を説明し周知するとともに、職員それぞれが持つネイビーファイル（個人ノート）に理念及び基本方針をファイルし周知を図っている。基本方針は理念との整合性を確保し職員の行動規範となる具体的な内容となっている。今後、職員への理念や基本方針の周知状況を継続的に確認し取り組むことを期待する。		

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果
①	2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b
	<input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	
【コメント】		
「新しい社会的養育ビジョン」を踏まえながら施設のあり方等について検討し 小規模グループケア化に取り組んでいる。今後、地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握・分析するとともに、地域における経営環境や課題を把握・分析して取り組むことが望まれる。また、入所を必要とする子どもの推移や利用率の分析を具体的にを行うことが望まれる。		

②	3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	b
	<input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	

【コメント】

職員の職務分掌において職員の業務を明確にするとともに、職員それぞれの業務内容に応じて職員会議等を通じて問題点を把握・分析し、改善に向けて取り組んでいる。施設に設置している各種委員会においても具体的な課題や問題点を明確にし組織的に取り組んでいる。経営状況や改善すべき課題については、施設長が理事会等を通じて協議し共有を図っている。今後、人材確保等明確になっている経営課題の解決に向け、より具体的に取り組むことを期待する。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果
①	4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
	<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○

【コメント】

事業計画を策定し、職員会議を通じて現状や今後の事業展開について説明し共通認識を図っている。経営課題や問題点の解決、改善に向けて計画の見直しを必要に応じて行っている。但し、中・長期的計画としては分かりづらい。今後、養育・支援の更なる充実、課題の解決等のほか、地域ニーズに基づいた新たな福祉サービスの実施といったことも含めた目標(ビジョン)を明確にし、その目標(ビジョン)を実現するために組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成等に関する具体的な計画と数値目標や具体的な成果等を設定し、実施状況の評価が行える中・長期計画を策定することが望まれる。

②	5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
	<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
	<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	

【コメント】

単年度の事業計画は施設における家庭的養育体制を踏まえ、実行可能な具体的な内容を計画し、施設の取り組みを具体的に示している。今後、事業計画は数値目標や具体的な成果等を設定して実施状況の評価が行えるよう策定するとともに、各部署の職員の意見を具体的に反映し全職員で事業計画を立案するという意識を醸成していくことを期待する。また、職員は施設の当該計画に対し、より理解促進に努めることが望まれる。

(2) 事業計画が適切に策定されている。

①	6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	
	<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	

【コメント】

年度末に事業計画の評価を各部門毎に行っている。当該年度に実施した事業は事業報告書として運営状況や実施した事業名・行事・職員の研修参加状況等具体的に策定し、施設の具体的な運営方針を明記して取り組んでいる。今後、事業計画の策定にあたっては、より職員の意見が反映できる仕組みの確立するとともに、職員に理解を促す取り組みを工夫することが望まれる。

②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	c
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【コメント】

子どもには行事予定などを伝えているが、子どもや保護者等へ事業計画を周知するまでには至っていない。保護者に対し、面会や行事等の機会を通じて保護者が訪問した際に資料を提示するなど説明していく意向である。施設のリーフレットには運営方針・養育方針・養育目標を明記しており、今後、リーフレットとともに事業計画の内容を子どもや保護者に分かりやすく説明できるよう工夫し、周知することが望まれる。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。

第三者
評価結果

①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

施設の情報・制度コンプライアンス部門に「第三者評価・自己評価企画と実行」業務を位置づけ、自己評価や第三者評価受審の評価結果を活用し、養育支援の質の向上を目指して組織的に取り組んでいる。施設内コミュニケーションツールSlack(スラック)を活用し、子どもに関する様々な情報を共有することで、養育・支援の向上に向け組織的に取り組んでいる。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

グループ毎に職員会議を行い、「第三者評価・自己評価企画と実行」業務の担当者が中心となり課題への改善に向けた取り組みを行っているが、改善への取り組み状況は職員によって差異が窺える。自己評価や第三者評価により明確になった課題は改善計画を策定する仕組みを構築し、職員が参画のもと計画的に改善していけるよう今後の取り組みに期待したい。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	○

【コメント】

施設長は職員会議等を通じて自らの施設の経営・管理に関する方針と取り組みを明確にし、役割と責任を表明している。業務分担表には施設長及び職員の役割等について掲載し、事業計画にも載せることで周知を図っている。

②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	○

【コメント】

児童福祉に関する法令のほか労働基準法や施設運営に関する関係法令など、施設長は遵守すべき法令等の把握に努め、職員研修や職員会議等の機会を通じて職員へ必要な法令の周知を図り、職員の理解に向けた取り組みを行っている。ワークライフバランスや有給休暇の積極的な取得を促すなど職員の働きやすい労働環境の整備に向け配慮している。

(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。

①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長は家庭的養育体制によるグループケアや子どもの進路、アフターケアへの取り組みのほかに地域貢献、ICT化による合理化や防犯・防災などへの取り組みなどリーダーとしてのビジョンを示し、自らもその活動に積極的に参加している。施設長による助言をもう少しストレートに伝えてほしいとの職員意見もあり、今後は施設長の説明等が十分に伝わっているのかを確認する機会を設けるなどして取り組むことが望ましい。

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設長は経営の改善や業務の実効性の向上に向け母体法人と連携し、人事、労務、財務等を踏まえた現状の把握・分析を行うとともに、人員配置、働きやすい環境整備等具体的に取り組んでいる。職員の意向の把握や施設の環境整備、経営課題の改善に向けた取り組みの推進に努め、自らも積極的に参画し施設長としての役割を果たすよう努めている。施設長としての取り組み姿勢が職員にも十分伝わり、同様の意識が醸成されるよう今後の取り組みに期待する。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。

第三者
評価結果

①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	<input type="radio"/>
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設には専任の心理職の配置のほか、児童心理カウンセラー養成研修の受講や心理療法担当職員分科会への参加など養育・支援に関わる専門職を配置し、有資格者の職員採用や職員研修に努めている。施設長は経営の改善や業務の実効性の向上に向け母体法人と連携し、人事、労務、財務等を踏まえた現状の把握・分析を行うとともに、人員配置、働きやすい環境整備等具体的に取り組んでいる。今後、施設の経営改善や業務の実行性に向け人材確保策を更に進めることが望まれる。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【コメント】

職員の行動指針及び期待する職員像を明確に定め、職員へ周知している。但し、人事基準・処遇改善について職員へ周知や理解が十分にできていないことが窺える。働きやすい職場環境を具体的に整備していくためにも、今後、人事基準・処遇改善の仕組みを職員へ周知し取り組むことが望まれる。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	○
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	

【コメント】

職員の相談窓口を法人本部の事務局長とし、相談等への解決を図る仕組みを構築している。有給休暇の取得状況や時間外労働など職員の就業状況を把握し、必要に応じて職員配置の見直し等を行っている。今後、定期的な個別面談や相談対応の充実など、働きやすい職場づくりへ更に取り組むことを期待する。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	

【コメント】

各ユニットのグループリーダーを中心にユニット毎に具体的な目標を設定し、職員の自己評価及び相互評価(ワンオンワン)を実施し、振り返りや次年度に向けた目標設定等を行っている。今後、職員個々の目標管理について達成度の確認を行うとともに、キャリアパスの仕組みとも連動しながら構築するなど職員の育成に向けた体制への取り組みが望まれる。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	○
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	

【コメント】

「期待する職員像」を明確にし、外部研修のほか内部研修を企画・開催し参加している。研修計画に基づき初任者向け研修や専門的研修等職員の能力に応じて段階的教育研修の機会を設定し参加している。尚、コロナ禍の影響により今年度はリモートでの研修に参加した。今後、現状の計画及び研修内容等の評価・見直しを図り次年度の研修計画に反映させる仕組みを構築し、より実効性の高い研修計画となることを期待する。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	b
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	○
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	

【コメント】

コロナ禍の影響により今年度はリモートでの研修に参加した。職員の経験や習熟度に応じて階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等幅広い教育・研修に参加できる研修体制を整備している。外部研修等の情報は適宜職員へ提供し、職員一人ひとりが教育・研修の場に参加できるよう配慮している。今後、経験や習熟度に配慮した個別のOJTが十分に行われるようOJTの仕組みを具体的に確立することが望まれる。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	○
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	○

【コメント】

県内の大学や短期大学、専門学校より保育士等の実習生の受け入れを積極的に行っている。実習生を指導する担当職員を選任し、実習生受け入れマニュアルに基づき所定の手続きを経て実施している。今後、実習生を指導する担当職員に対する指導方法の周知や指導者研修の機会なども整備することが望まれる。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		第三者 評価結果
①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の実存意義や役割を明確にするように努めている。	
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	
【コメント】		
法人本部によりホームページを公開し、基本理念や基本方針のほか、定款、役員名簿、事業計画、決算等を明らかにし、関連施設を含めた各種情報を公開している。第三者評価の受審結果は、全国社会福祉協議会のホームページに公開している。施設での子どもたちの生活の様子や活動内容は個人情報に配慮しながら印刷物や広報誌を配布して周知を図っている。今後、社会・地域に対して施設の役割を明確に示し、理念や基本方針を周知することが望まれる。		
②	22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。	
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。	
【コメント】		
経理規程を整備し、経営や財務管理の職務分掌を明確にしている。外部監査は顧問税理士と契約し定期的にチェックする体制を整備している。今後、事務・経理・取引等について内部監査を適切に実施することでガバナンスの強化に繋げることを期待する。		

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果
①	23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。	○
	(児童養護施設) <input type="checkbox"/> 学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。	○
【コメント】		
運営方針に地域との交流を謳い、事業計画においても「地域支援」を位置づけ、子育て相談ができる窓口の設置や子育て短期支援事業、退所児童への支援や地域の子ども達の居場所づくり、学習支援等の機会を設けている。施設移転前の町内会との関係も継続しており、地域に根ざした施設づくりへ積極的に取り組んでいる。子ども達によるレオクラブの活動を通じた地域清掃活動や、独居老人のゴミ出しを手伝うなどの奉仕活動によって施設の理解や地域とのコミュニケーションに繋がっている。		

②	24 ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。	
	<input type="checkbox"/> 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。	
	<input type="checkbox"/> ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。	○

【コメント】

施設では学習ボランティアなど各種ボランティアを受け入れている。ボランティア受け入れ時にはボランティアに対して活動や学習における注意事項等を説明している。但し、ボランティア受け入れに関する基本姿勢は明文化していない。ボランティア受け入れ規程やマニュアルを通じて基本姿勢は明文化し整備することが望まれる。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域に適当な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	

【コメント】

児童相談所、市町福祉事務所、学校関係など様々な関係機関・団体等と情報を共有し連携を図り、職員会議等を通して職員にも情報を周知している。職員は学校行事や施設行事に積極的に関わり、PTAや育友会の役員を引き受けるなど関係機関と連携している。今後、アフターケアについて職員に必要な社会資源の周知を図るとともに、関係機関と連携し支援の継続性を確保できるよう取り組むことを期待したい。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	○

【コメント】

安中地区合同ふれあい運動会に子ども達が参加し、地域住民と交流する機会を設けている。また、地域の方が気軽に立ち寄れるよう地域交流スペースを設けたり、施設ホールを開放し講演の聴講や、子育て相談窓口の設置、学習支援など、地域住民との交流を通じて地域の課題の把握や解決に向け取り組んでいる。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	○

【コメント】

災害時の一時避難所及び母子避難所（福祉避難所）として鳥原市と協定を締結し、災害時の福祉避難所としての役割を担っている。レオクラブの活動を通じた子ども達の地域清掃活動や独居老人のゴミ出しを手伝うなど、社会福祉分野のみならず地域コミュニティの活性化や地域づくりに貢献している。子育て相談窓口の設置、学習支援など地域住民との交流を通じ、施設が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を地域に還元できるよう取り組んでいる。今後、具体的な事業活動を計画的に行えるよう取り組むことを期待する。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	○

【コメント】

法人の基本理念には「みのり会は、全ての利用者のために誠実に奉仕し何よりも安全安心を第一とした事業の運営に努めます。」と明示している。また、施設の運営方針及び養育方針からも子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し具体的に取り組んでいる。「子どもの権利の最善の利益を守り豊かなこころを育む委員会」を開催し、子どもの自主性を尊重した養育・支援を行っている。

②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	○

【コメント】

子どものプライバシー保護について、職員は性差による配慮、居室への立ち入り、手紙の開封、入浴、排泄など共同生活を営む上で配慮すべき事項を取り決め実施している。子どもには権利ノート等を用いて説明し注意喚起を行っている。今後、子どもへのプライバシー保護について規程・マニュアル等を作成し、周知することが望まれる。

(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。

①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="radio"/>

【コメント】

児童相談所の措置を前提に入所を受け入れ、職員は子どもや保護者へ丁寧な説明に努めている。施設の情報ホームページやリーフレット等に分かりやすいよう掲載している。施設の見学にも随時対応している。支援内容等は定期的に保護者に情報提供し、必要に応じて見直しを行っている。

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	<input type="radio"/>

【コメント】

養育・支援開始時はリーフレット等を用いて施設の運営方針・養育方針・養育目標と沿革やプログラムなど施設での生活の様子が分かるよう説明している。また、「みんなのやくそく」を用いて子どもが施設で生活する上での具体的事項や留意項等を分かりやすく説明している。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	<input type="radio"/>

【コメント】

地域・家庭移行等には家庭支援専門相談員が担当し、家庭への移行にあたり養育・支援の継続に配慮した自立支援を立案している。措置変更にあたって児童相談所と協議を重ね、必要に応じて専任の心理職と相談できるような体制を整えている。退所時には自立支援ハンドブックを渡し、退所後の相談やアドバイス等に対応している。

		第三者 評価結果
(3) 子どもの満足の向上に努めている。		
①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	

【コメント】

各ユニットによるグループ単位で子ども会を行い、職員も参加して子どもからの意見や要望等を聴取し、必要に応じて職員間でも検討することで子どもの満足に対する意識の向上を図っている。但し、子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するための具体的な仕組みを構築するまでには至っていない。今後、子ども参画のもとでの検討会議の設置や意見表明が苦手な子どもがいることを踏まえながら、子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備することを期待したい。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。		
①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	

【コメント】

苦情受付担当者・責任者、第三者委員を選任し、苦情解決の仕組みを整備している。苦情解決の仕組みを施設内やホームページに掲載し周知している。苦情に関して検討を要する事項についてはSlack(スラック)を活用したり、職員会議等で検討することで支援の質の向上に努めている。今後、苦情を申し出しやすい工夫や、苦情内容に基づき支援の質や信頼性の向上を図るための取り組みを検討することが望ましい。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

子どもの相談窓口はグループの担任職員が担当し相談を受ける体制である。また、個別処遇室を設け、相談や意見を述べやすいスペースを確保している。今後、直接相談しにくい相談や相談内容によって複数の相談方法や相談相手を自由に選べることを子どもや保護者等にあらためて周知することが望まれる。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	

【コメント】

職員は子どもが相談しやすく意見を述べやすいよう配慮し、迅速な対応が求められる場合はSlack（スラック）や職員会議等で情報を共有し組織的な対応を図っている。子どもからの相談や意見は苦情解決と同様の仕組みで対応している。今後、相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備や実施方法の検証・見直しを定期的に行っていくことが望まれる。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。

第三者
評価結果

①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	

【コメント】

ヒヤリハット等の事例を収集し、事故防止や職員の危機意識の向上に努めている。地震や風水害を想定したり、火災予防訓練等定期的な避難訓練など行っている。毎月、設備や遊具などの安全確認及び危険箇所の点検を定期的実施し、外部の侵入者や非常時等において子どもの安全を確保し、安心した生活が提供できるよう取り組んでいる。防災における動作マニュアルについても整備し、組織的な取り組みを行っている。施設は母子避難所（福祉避難所）として島原市と協定を締結しており、災害時には地域の方や高齢の独居の方も利用できるよう配慮している。

②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	<input type="radio"/>

【コメント】

衛生管理マニュアル・新型コロナウイルス感染症対策マニュアルを整備し、万一感染者が発生した場合は隔離できる居室を設けて安全ゾーンで仕切る対策を講じるなど、緊急を要する子どもの安全確保について施設として体制を整備している。また、定期的に感染症予防に関する勉強会を実施し、子どもの安全確保の体制を職員に周知している。コロナ禍の影響により子どもの生活スケジュールの見直しや自粛期間中の過ごし方をグループ毎に検討し、子どもにも感染予防策の周知を図り、安心して生活できるよう体制を整えている。

③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	<input type="radio"/>

【コメント】

消防計画に基づき定期的に避難訓練を行い、避難経路の確認、初期消火訓練、非常放送訓練、災害の避難先、消火設備の点検、役割など周知徹底に努めている。災害時に飲料水や食料等3日分程度を提供できるよう備蓄しリスト化して管理している。大雪・大雨に際しては職員を動員し、子どもの安全に万全を期して臨んでいる。今後、災害や感染症発生の際に養育・支援を維持し事業が継続できるよう、事業継続計画(BCP)を策定することが望まれる。

2 養育・支援の質の確保

(1)	養育・支援の標準的な実施方法が確立している。	第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	b
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>

【コメント】

現在、各ユニットを6グループに分け、グループ毎に決まり事や約束事、子ども達の役割分担等があり、日常生活の中で子どもの尊重や権利擁護、プライバシー保護の考え方にも触れ、職員が関わりを持ちながら養育・支援を実施している。標準的な実施方法としてマニュアルを作成しているが、マニュアルに沿った支援が十分実施できていない。今後、標準的な実施方法に基づいて実施できているかどうかを確認する仕組みを構築することが望まれる。

②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	○
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	

【コメント】

標準的な実施方法について、各グループ毎に少なくとも6か月に1回検証し、必要な見直しを組織的に実施できるよう取り組んでいる。必要に応じて毎月のケース会議においても検討している。自立支援計画の実践状況、子どものニーズや変化など自立支援計画への反映に職員が共通意識を持ち、標準的な実施方法の検証見直しにあたっては子ども等からの意見や提案が反映されるよう仕組みを構築することを期待する。

(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。

①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員(種別によっては施設以外の関係者も)が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員(種別によっては組織以外の関係者も)の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	

【コメント】

児童相談所と連携して入所の経緯や課題点を把握した上で子どもの現状に応じた自立支援計画を作成し、計画策定、評価・見直し、記録を行っている。自立支援計画の作成にあたり各グループでケース会議やミーティングを実施し、関係職員や専門職などのほかに組織外の関係者にも加ってもらい子どもへの共通理解を図っている。但し、専用シートを用いてアセスメントを実施しているがアセスメント手法は確立されておらず、職員の経験に頼る部分が窺える。今後、アセスメント手法を確立するとともに、アセスメントスキルを向上させる取り組みに期待する。

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

自立支援計画は子どもの意向把握を踏まえ、関係職員と連携を図りながら担当者や関係職員が参加する会議を経て定期的に(6か月に一度)見直しを行っている。今後、自立支援計画の評価・見直しのプロセスの中で必要に応じて医療・学校、外部関係者との連携を図り、緊急変更のための手順も文書化し取り組むことが望まれる。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの回覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

グループ毎に子どもの日々の生活の記録・支援経過記録を整備し、詳細な記録を残している。記録者以外の職員も閲覧でき、子どもの状況が分かるよう工夫している。Slack（スラック）等を活用して職員間で子どもの情報を共有し組織的な対応を図っている。但し、現状は職員の記録の仕方に差異があり、今後、養育・支援の方向性についても共通認識を図り、子ども達へよりよい支援に繋げる意向である。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	b
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	○

【コメント】

個人情報の取り扱いは十分に配慮した管理体制のもとで行われている。電子データ等の記録や書類は法人本部で管理できるようシステムを構築しており、一般的にアクセスできないようにして管理している。子どもの各種資料や記録は永年保存できる体制を整えている。施設での個人情報取り扱いについて子どもや保護者へ説明し、納得・理解のもとで行っている。個人情報の開示にあたり、職員への個人情報の取り扱いや漏洩対策への理解をより深める今後の取り組みに期待する。

内容評価基準（25項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。	a
<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。	○
<input type="checkbox"/> 権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。	○
<input type="checkbox"/> 権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。	○

【コメント】

毎月、豊かな心を育む委員会（通称豊ここ）を通して苦情受付担当者が内容・テーマを設定し、権利擁護に関する研修会を開催している。被措置児童虐待発生時対応マニュアルや太陽寮児童虐待対応マニュアル（地域版）を作成し、職員への理解を図っている。入職にあたり、職員全員に「職員ノート」をファイリングして配布し、新任時に説明している。「職員ノート」には権利擁護について、子どもの人権、プライバシー保護、規範等のほか虐待マニュアルをとじ込み整備しており、子どもの権利擁護に関し徹底して取り組んでいる。

(2) 権利について理解を促す取組	
① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。	a
<input type="checkbox"/> 権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。	○
<input type="checkbox"/> 子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。	○
<input type="checkbox"/> 職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。	○
<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。	○
<input type="checkbox"/> 年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。	○

【コメント】

自他の権利について子どもの年齢や発達状態に応じ、一人ひとりの日常生活の中で機会を設け話をしている。時には権利ノートを用いて子どもが生活の中で保障される様々な権利を分かりやすく説明している。訪問調査時には隣接する特別支援学校の生徒と子どもとの交流を通じて、自分より弱者の立場の人を思いやる子どもの姿をエピソードとして窺うことができた。

(3) 生い立ちを振り返る取組

①	A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生い立ちを振り返る取組を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。	○
	<input type="checkbox"/> 事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋がっている。	

【コメント】

子どもの生い立ちを伝える際は入所に至るまでの過程や状況に応じ慎重に判断し、伝えるタイミングや方法は子どもの年齢や発達状況に応じて適切に事実を伝えるよう努めている。入所後の成長過程の記録をアルバムとして保管し、子どもの生い立ちについて振り返りができるよう取り組んでいる。これまで児童相談所の情報が十分でなかったり、入所時の情報が異なっているケースもあったため、職員は子どもと接する時間を多く確保して情報を把握するよう努めている。今後、成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生い立ちの整理に繋げることを期待する。

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	

【コメント】

被措置児童虐待対応マニュアルを作成し、職員は不適切な関わりがないよう努めている。日々の生活状況で言葉の使い方・関わり方に注意し、必要に応じて対応する職員を変更するなど配慮している。ユニット会議やSlack(スラック)で子どもへの対応を話し合い情報を共有するほか、虐待事案発生時の対応チャートを作成し、関係機関と連携する仕組みを構築している。施設には「189」児童相談対応ダイヤルのポスターを掲示しているが、子ども達が外部への相談や、自分を守る権利等を学習する機会が行えていない状況である。

(5) 子どもの意向や主体性への配慮

①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	
	<input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。	<input type="radio"/>

【コメント】

職員と子ども達が家庭的な雰囲気の中、少人数（6～7人）で快適に生活できるよう住環境を整備している。起床時のルーティンや目覚まし時計の活用のほか、食事を一緒に作ったり食材おやつ等の買い物を通して物の値段や相場を知るなど、社会のルールを学ぶ機会に繋げている。子ども達は一人ひとり小遣い帳を付け、金銭管理や金銭感覚が身につくよう支援している。グループ毎に日常生活の問題点や決まり事の見直し、行事の企画・役割などを話し合い、必要に応じて職員会議に諮り決定した内容を子ども達へ伝えている。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

入所時に子どもの情報を把握・理解、職員間で共有し、子どもが不安にならないよう体制を整えている。これまでの生活環境の連続性に配慮し、放課後デイサービスや学校等を継続できるように支援している。事前に施設見学を行ったり、担当職員や家庭支援相談員が面会を行うことで不安軽減に取り組んでいる。入所にあたりユニットの子ども達にも伝え、温かく迎えることができるよう受け入れの準備をし、安心して新生活を送れるよう配慮している。

②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	
	<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生時の連絡などにも対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	

【コメント】

退所に向け、保護者と子どもと一緒に生活できるよう体験施設を整備している。卒寮に際しては支援の一つとして自炊をプログラミングするなど自立した社会生活を送ることができるようリービングケアに取り組んでいる。退所の際にはいつでも相談できる旨を伝え、退所後も継続して訪問する子どももいるが、OB会等は作っていない。今後、退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流できる機会を設けることが望まれる。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	b
	<input type="checkbox"/> 職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	
【コメント】		
<p>日々の生活の中でいつもと違う子どもの態度や行動を担当職員が気づいたり、他の職員とも情報共有しグループ会議を通じて解決策や対応策を検討している。また、必要に応じて他のグループ担当職員と共有し連携を図っている。現在、不登校の子どもに対しても問題解決へ向け対応しており、心理的課題には心理士との連携によりその背景を考慮しながら対応するよう努めている。</p>		
②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別に触れ合う時間を確保している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 夜目覚めたとき大人の存在が感じられるなど安心感に配慮している。	<input type="radio"/>
【コメント】		
<p>グループケアを通して睡眠や食事など子どもの基本的欲求が表出しやすい環境に配慮している。年齢に応じた養育支援を考慮し、部屋割りやグループ分けにも子どもの意思を大切に、子どもが抱えている生理的・心理的欲求を踏まえながら対応している。</p>		
③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切に、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員は必要以上の指示や制止をしていない。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> つまづきや失敗の体験を大切に、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に掌握、援助できるように、職員の配置に配慮している。	<input type="radio"/>
【コメント】		
<p>グループケアにおける子どもの成長過程の中で、子どもが何らかの課題や壁にぶつかることを経験することで考える力や自分で乗り越える力を養い、その子どもを見守り、必要に応じてフォローする体制を整えている。子どもが自分で考え結果を出すまでのプロセスや答えが出せるよう見守りに徹し、子どもの成功や失敗の体験を大切にしている。</p>		

④	A11 発達の状態に応じた学びや遊びの場を保障している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状態、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	○
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	○

【コメント】

施設内では発達の状態に応じた学びや図書コーナーの活用のほか、玩具や遊具などで遊びができるよう取り組んでいる。15年程前からピアノ指導のボランティアに来てもらい、現在は8名が指導を受け、子どもは発表会で練習成果を披露している。子どもには習い事を習得するための目的・目標を持ってもらい、計画的に最後までやり遂げる大切さを身につけられるよう取り組んでいる。本人が持つ将来性ややりたい事には積極的に支援しているが、地域性の問題や社会資源の乏しさから提供できない面も窺える。

⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達の状態に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達の状態に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくよう支援している。	

【コメント】

日常の生活を通して基本的な生活習慣が身につくよう支援している。自転車の乗り方などの交通マナーや、日々のニュースで社会情勢の問題にも関心を持てるようにしたり、社会生活を営む上で必要な知識や生活技術、社会規範等を習得できるよう支援している。子どもの年齢に応じてインターネットやSNSの知識や扱い方も学べるよう支援している。尚、高校生からはスマートフォンが使用でき、学校の連絡事項や情報はLINEで連絡できる。

(2) 食生活

①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気ですぐに食事できるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

グループ毎に調理できるスペースを確保し、家庭的な楽しい雰囲気ですぐに食事を提供している。食事場所は明るく常に清潔が保たれた中で、職員と子ども、及び子ども同士がコミュニケーションできる場として機能するよう工夫している。部活動で帰りが遅くなっても温かい食事が提供できるよう配慮している。また、嗜好調査を行い献立に反映するなど食への楽しみができるよう配慮している。アンケート調査でも「おいしい」との満足の声が高かった。

(3) 衣生活

①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

年齢に応じた衣類の購入ができる機会を定期的に設け、個々に合った子どもが望む衣類を提供している。清潔な衣類を十分に確保し、子どもの衣習慣に応じた個性を活かしたり本人が自由に衣服を選択し自己表現できるように支援している。子どもが自身で衣類の洗濯や整理保管ができるよう支援し、整理ができない子どもには休日を利用し職員と一緒に関わり支援している。

(4) 住生活

①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損個所については必要な修繕を迅速に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設が新しくなり、陽当たりも良好で施設全体が明るくきれいに整備している。子ども一人ひとりの居場所を確保できる個室を整備し、子どもの年齢や要望に応じて2人部屋を提供するなど対応している。子どもが身につけるものや日常的に使用する日用品等は個人所有である。居室にはキャラクターや流行のグッズ等を飾っており、個性を尊重している。台所やリビング等の共有スペースはグループ内で掃除や整理整頓の担当分担を決め、習慣が身につくよう支援している。

(5) 健康と安全

①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

子どもの心身の健康を管理し、かかりつけ医と連携している。一人ひとりの子どもに対し定期的に受診支援を行っている。内服薬がある子どもには医療機関と連携し、服薬後のWチェックを実施している。一人ひとりの子どもを注意深く確認し、些細な事も見逃さないようメンタルケアにも配慮している。

(6) 性に関する教育

①	A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	b
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	

【コメント】

子どもの誕生日の際には命の大切さや命の教育を行っている。年齢発達に応じて話をする機会を設けている。但し、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用するまでは至っていない。また、外部講師を招いた学習会も開催しておらず、今後、子どもの年齢や発達段階に応じたカリキュラムの整備し、性について子どもが正しい知識や異性への関わり方について学ぶ機会を設けることが望まれる。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	<input type="radio"/>

【コメント】

現在、暴力や不適切な行動をする子どもはいないが、問題解決に向けてその子どもが所属するグループで対応するようにしている。日頃の子どもの行動を職員が把握し、周囲の子どもへ影響がないよう配慮している。職員の気を引くために暴れる子もいるため、心理的な面や背景も十分に考慮し、日々の生活が安定したものとなるよう課題を分析し、ケース会議を開催し対応策を講じている。また、必要に応じて児童相談所、専門医療機関等と連携を図る仕組みを構築している。今後、職員のメンタル面への配慮や子どもへの支援の差異が生じないよう取り組むことが望ましい。

②	A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっていく。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	<input type="radio"/>

【コメント】

子どもの状態は常に職員が把握・理解するよう努めている。グループ毎に朝・昼のミーティング、子ども達が学校に行っている間の時間帯に職員会議をして現場の状況を把握している。日頃から他者に対する接し方を子ども達と話し合い、現在は子ども間での暴力やいじめ、差別等はない。子ども同士の関係性や年齢に配慮した支援を行っており、施設全体で人権に対する意識を高める体制を整えている。

(8) 心理的ケア

①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	

【コメント】

現在、心理的ケアが必要な対象児童は小学生が3人、中学生が1人いる。心理士による自立支援計画に基づきプログラムを作成しているが、心理的支援が十分に活用できるのはこれからである。児童に対して児童相談所と心理士と一緒に来所して助言を得ているが、心理的困難が解決できるよう取り組んでいる。今後、選任の心理療法担当職員を核とし、施設全体で心理的支援の目的を共有し機能させることが望まれる。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	b
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	○
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	○

【コメント】

個々の子どもに合った学習支援を行っている。個室で学習するスペースや学習のための環境づくりに配慮している。2年程前から学習ボランティアに來寮してもらい、学力アップに向け支援を得ている。過去に学校に通えていない子どももおり、学力の回復に向け支援している。障害のある子どもには特別支援学級や特別支援学校への通学を支援している。児童によっては高校へ通えなくなり、途中で夜間の定時制高校への変更や通信制高校への編入を支援している。

②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	b
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	

【コメント】

子ども自ら進路を決定できるよう必要な資料を収集したり、判断材料を提供するなど支援している。全体的に大学進学率は低いが、本年度は大学と専門学校への進学する子どももいる。経済的な不安にも奨学金や経済的援助の仕組みについて情報を提供し、本人が望む進路の実現に向けて支援している。就労する子どもは退所後の生活に係る問題等に対して5年間は連絡が取れるよう体制を図っている。現在、不登校の子どもへの支援が不足傾向であり、今後、解決策を見い出すことを期待する。

③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業主等と連携している。	
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	

【コメント】

現在、コロナ禍の影響により実習先に出向いての職場実習や職場体験は実施できていないが、社会経験の一環として定期的な農家の手伝いをし、労働の大変さや責任感、農作物の収穫のありがたさを学んでもらいながら就労支援に取り組んでいる。自動車の免許や技能習得、接遇マナー研修など就労に向け支援している。但し、積極的に取り組めていない部分もあり、今後、各種資格取得に向けての支援が期待される。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかかわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	<input type="radio"/>

【コメント】

月に1度、保護者に向けて日々の生活の様子を配布し、子どもの成長を通して施設との信頼関係を構築している。児童相談所から許可が下りた子どもには面会や一時帰宅等を取り入れ、家族との継続的な関係づくりに取り組んでいる。家庭支援専門員を中心に家庭復帰や家族再統合の役割を明確にし、保護者とのコミュニケーションを図りながら家族と協力体制を築いている。保護者との面会時には必要に応じて行事への参加や協力を依頼している。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	
	<input type="checkbox"/> 児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設単独での家庭訪問が難しいため、児童相談所と連携を図り家庭支援専門員が中心となって関係機関と協力しながら課題に対しての改善策や対応を図っており、家族関係の修復と再構築に向け取り組んでいる。施設全体で保護者の養育力の向上に取り組んでおり、面会・外出・一時帰宅の実施を通して更なる家族支援へ取り組むことを期待する。

社会的養護施設第三者評価 利用者調査結果（施設種別：児童養護施設）

評価機関名	特定非営利活動法人 ローカルネット日本評価支援機構
-------	------------------------------

事業所名称	太陽寮
-------	-----

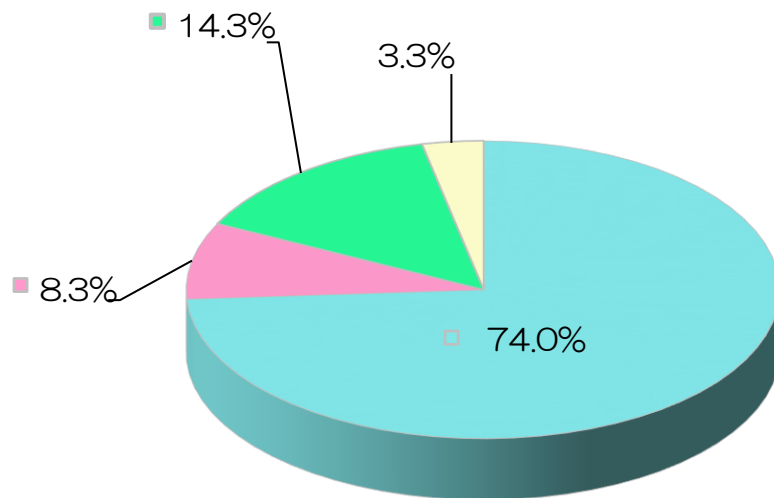
調査の対象・方法	対象：太陽寮 方法：調査用紙を配布し、事業所に回収ボックスを設け、評価機関が回収。
----------	--

調査実施期間	2020年11月1日～2020年11月30日
--------	------------------------

利用者総数（人）	35
調査対象者数（人）	32
有効回答数（人）	30
回収率（%）	93.8%

アンケート結果平均

はい	222 件	74.0%
どちらともいえない	25 件	8.3%
いいえ	43 件	14.3%
無回答	10 件	3.3%



総 評	<p>本アンケート調査は利用者35人中32人へアンケートを実施し、30人より回答を得た。回収率は93.8%である。アンケート結果の平均値は肯定的回答が74.0%、否定的回答が14.3%であった。</p> <p>「施設の大人の人たちは、あなたがいやがるよび方をしたり、命令したり、乱暴な言葉を使ったりしないで接してくれますか?」、「施設の大人の人たちは、あなたの良いところをほめてくれますか?」、「施設の大人の人たちは、あなたが成長していくために取り組む目標、あなたの将来（学校や仕事）について話を聞いてくれますか?」の問いには8割以上の肯定的回答があった。一方、「この施設は、くらしやすく、安心して生活できますか?」、「施設の大人の人たちから、あなたは大切にされていると感じますか?」との問いに対しては肯定的回答が6割台に留まっている。</p> <p>今後、上記アンケート調査結果を踏まえ具体的に取り組むことを期待する。</p>
-----	--

社会的養護施設第三者評価 利用者調査結果（児童養護施設用）

事業所名称	児童養護施設 太陽寮	有効回答数	30 人
-------	------------	-------	------

No	質問項目	回 答	回答数	(%)
1	この施設は、くらしやすく、安心して生活できますか？	はい	19 件	63.3%
		どちらともいえない	3 件	10.0%
		いいえ	7 件	23.3%
		無回答	1 件	3.3%
2	食事の時間は楽しみですか？	はい	22 件	73.3%
		どちらともいえない	2 件	6.7%
		いいえ	6 件	20.0%
		無回答	0 件	0.0%
3	施設の大人の人たちから、あなたは大切にされていると感じますか？	はい	20 件	66.7%
		どちらともいえない	2 件	6.7%
		いいえ	8 件	26.7%
		無回答	0 件	0.0%
4	施設の大人の人たちはこの施設の決まりや約束ごとをわかりやすく教えてくださいませんか？	はい	23 件	76.7%
		どちらともいえない	0 件	0.0%
		いいえ	4 件	13.3%
		無回答	3 件	10.0%
5	施設の大人の人たちは、あなたがいやがるよび方をしたり、命令したり、乱暴な言葉を使ったりしないで接してくれますか？	はい	24 件	80.0%
		どちらともいえない	2 件	6.7%
		いいえ	3 件	10.0%
		無回答	1 件	3.3%
6	施設の大人の人たちは、あなたの良いところをほめてくれますか？	はい	25 件	83.3%
		どちらともいえない	1 件	3.3%
		いいえ	3 件	10.0%
		無回答	1 件	3.3%
7	施設の大人の人たちは、あなたが成長していくために取り組む目標、あなたの将来（学校や仕事）について話を聞いてくれますか？	はい	24 件	80.0%
		どちらともいえない	1 件	3.3%
		いいえ	3 件	10.0%
		無回答	2 件	6.7%
8	あなたには、自分の気持ちやあなたの考えを話しやすい施設の大人の人がありますか？	はい	22 件	73.3%
		どちらともいえない	4 件	13.3%
		いいえ	3 件	10.0%
		無回答	1 件	3.3%
9	ここでのくらしでは、あなたのプライバシー（人に知られたくないことや自分の居場所）は守られていますか？	はい	22 件	73.3%
		どちらともいえない	1 件	3.3%
		いいえ	6 件	20.0%
		無回答	1 件	3.3%
10	ここでのくらしで「いやだなあ」「こまったなあ」と思ったときに、施設の外の大人の人にも話すことができることを知っていますか？	はい	21 件	70.0%
		どちらともいえない	9 件	30.0%
		いいえ	0 件	0.0%
		無回答	0 件	0.0%